



自民議連
神田 隆彦 議員
〈呉市〉

呉市における多機能な複合
防衛拠点整備への対応

問 呉市における防衛省の複合防衛拠点案に係る県の思いを反映させた民間企業誘致の実現に向けてどう準備し、アクセス道路などのインフラ整備に向け国に對しどう働きかけるのか。

答 防衛省の整備案に、民間企業誘致エリア20ヘクタールの確保やスタートアップ企業も入居できる研究関連施設の整備等が盛り込まれ、本県の要望も一定程度反映された。県としては呉市の意見を尊重したい。

今後、防衛省、呉市、本県3者による民間企業誘致やアクセス道路などインフラ整備を含めた意見交換を、呉市と連携しながら継続していく。

その他の質問項目

■保険医療機関等や社会福祉事業者が直面している物価高騰

■カキ養殖業支援の成果

■カキ養殖業におけるむき身作業の共同化と未来への展望

■広島県職員の人材確保に向けた取組の成果と今後の見通し

■広島県職員の人材確保に向けた取組の成果と今後の見通し



公明党
岡部 千鶴 議員
〈広島市西区〉

新病院における休日・夜間の
小児オンライン診療の導入

問 医療資源の最適配分と保護者の利便性向上の観点から、新病院の休日・夜間の小児オンライン診療の導入をどう考えているか。

また、本県の小児医療提供体制をどう確保するのか。

答 新病院は、地域のかかりつけ医との役割分担や連携も進める必要がある。小児オンライン診療については、関係者の意見を踏まえて検討する。

小児医療提供体制については、7つの圏域ごとに医療機関間の役割分担と連携を進め、施設整備を含む財政支援等にも取り組んでいる。また、本年度は10名の地域枠卒業の小児科医を県内医療機関に配置している。

その他の質問項目

■医療・介護現場におけるカスハラ・ペイハラ対策

■違法オンラインカジノの周知・啓発

■デジタルデバイドの解消

■「共育で」の定着

■女性に選ばれる地域づくり



自民議連
玉重 輝吉 議員
〈安芸高田市〉

生活交通の維持・確保

問 人口減少が進む中山間地域において、日常生活を支える公共交通を将来にわたり維持・確保していくため、市町の財政や運営上の課題に對してどう取り組むのか。

答 市町に對し、財政面では、バス路線運行経費や広島型Maas等の取組を支援している。

運営面では、交通を担う人材の確保・育成に向け、運転士採用フェアや市町職員対象の交通計画策定研修の開催等を実施することにも、単独市町では調整困難な広域路線の維持・確保に向け、効果的な利用促進策の検討や交通事業者などの関係者との協議・調整等に取り組んでいる。

その他の質問項目

■中山間地域の医療体制の確保

■農業用施設の維持管理と更新

■畜産農家への支援

■県立高等学校の存続・充実

■水道事業の広域連携

■県内のテレビ地上波難視聴地域における共同受信設備の更新



自民議連
竹原 哲 議員
〈広島市安佐南区〉

県産材の利用促進

問 住宅への県産材利用は大幅に増加しているが、人口減少等により頭打ちが見込まれる。県産材利用促進に向けたこれまでの取組と成果、利用拡大に向けた今後の取組について伺う。

答 外材からの置き換えに取り組む建築会社への支援、木造設計に精通した建築士の育成等に取り組んだ結果、低層建築物の木造率が向上するなど県産材を中心とした木材利用が進んでいる。今後は、住宅以外での利用促進に向けた優良木造建築物を評価する仕組みづくりや内装材等製品開発、製品展示による広報、木造化の効果等の理解促進などを図っていく。

その他の質問項目

■県立高等学校の果たすべき役割

■里親ショートステイの推進

■高度医療・人材育成拠点がもたらす経済波及効果

■補助金に頼らない農業経営の実現に向けた方策

■林業従事者の確保

■関西圏との連携強化 など



民主県政会
的場 豊 議員
〈福山市〉

手話言語及び情報コミュニケーション
条例の制定により広島県がめざす社会

問 障害がある人もない人もお互いを理解し尊重し、県民誰もが暮らしやすい広島県とするため、手話言語条例及び情報コミュニケーション条例制定によりどのような社会をめざすのか。

答 当事者、有識者、障害者団体等との議論を通じて「全ての県民が障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し合いながら、共生する社会」を目指すこととした。実効性のある取組を着実に進め、日頃からどのような場面でも、障害特性に応じ、双方向コミュニケーションを行うことが当たり前にできる広島県の実現に向け全力で取り組む。

その他の質問項目

■本県農業を守るための施策の方向性

■ひろしまの森づくり事業による里山林整備

■県東部海域の再生に向けた取組

■難病患者と障がい者の「親なき後問題」の支援策

■带状疱疹ワクチンの助成範囲の拡大

■（仮称）「広島県人権尊重の社会づくり条例」の制定 など



自民議連
三好 良治 議員
〈福山市〉

松永湾のブルーカーボンと
循環型海づくり拠点整備

問 松永湾の今後について、例えば港湾機能の最適化による海遊びの拠点やカキ殻対策を含めた「ブルーカーボン」循環型海づくり拠点の整備など、明確なビジョンや整備方針を伺う。

答 松永湾は製造業や漁業に重要な役割を担ってきたが、近年は港湾施設の利用や、ブルーカーボンの活用による脱炭素化の推進、サーキュラーエコノミーへの移行、カキ殻の処理問題など変化が生じており、海洋環境を活用したにぎわい創出を含め、関係者等から意見を聞きながら、松永湾が地域の発展を支えるものとなるよう今後の在り方の検討を進める。

その他の質問項目

■若者に選ばれる企業の本質と、人口流出を食い止めるゼブラ企業群の形成

■交付金等の獲得に向けた現状認識と方針

■広島県手話言語条例と広島県障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進条例

■最低賃金制度に対する県の認識

■猛暑対策

■広島空港の真の国際空港化に向けた路線拡充 など



広島県子供議会
を開催

8月23日、県内の46人の小・中学生が議員役を務め、将来の広島県について議論する「広島県子供議会」を、県議会の本会議場で開催しました。（主催／広島県・広島県議会）

事前の勉強会では、「平和・観光」、「くらし・安心」などのテーマごとに6グループに分かれ、10年後の広島県をどのような県にしたいのかを議論し、知事等への提案を考えました。

当日は、定例会さながらの緊張感の中で、子供たちが被爆者から被爆体験を聞き、被爆者の体験や平和への思いを伝えるために学校単位で日本語と英語を交えた人形劇や自作の歌を作成し、SNSのアカウントを作ったり平和に向けての取組を行ってはどうか」など、様々な提案が行われ、知事や警察本部長等が答弁しました。

